

2018年 11月 19日

課題名：臍頭十二指腸切除術後の胆管炎発症に関係する因子の検討

◆研究の目的と概要◆

臍頭十二指腸切除術を受けられた患者さんでは、時折逆行性胆管炎による発熱がみられ肝機能障害を伴うことがあります。当院では、手術に於いてどのようなことに気を付ければ逆行性胆管炎が起きにくくなるのかを明らかにし改善点を見出すことで、今後もより良い手術を提供できるようにすることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年4月から、2020年3月までの間に、臍頭十二指腸切除術を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長・体重、術前の治療経過、各種画像検査の結果、血液検査の結果、病理組織検査の結果、手術の情報、術後の経過

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等の情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 北川 裕久

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明